

# 名教スタッフ版

## よめよめグラフィック

名前

平野 貴義

★読んだ本について書いてみよう。

ひ	つ
日	付
30	6
日	月

ペー	すう
ジ	数
2	2
3	3

①本の題名

続々 受験理科の裏ワザテクニック(文英堂)

②本の作者

山内 正

③私のおすすめの本を、紹介します。

私が読んだ本は、「続々 受験理科の裏ワザテクニック」です！ この本の特徴は、「小学生にとって難解な理科のテーマを著者が、わかりやすく解説している」ところです。

暗記を効率よく行う手段としては、語呂合わせが有名ですね。例えば、この本に紹介されているのは、アンモニアの発生方法で、「スイカに塩」という覚え方です。「スイカと塩」が何を表しているかわかりますか？ 答えは「水酸化カルシウム+塩化アンモニウム」です。気体の單元では、アンモニアの他にも酸素、二酸化炭素、水素などいろいろな気体が登場します。それら全ての「発生方法」はもちろん、「色」、「におい」、「空気との重さの比較」、「水への溶けやすさ」、「集め方」、「その他の性質」などを覚えなければいけません。これだけの量をひたすら覚えるのはけっこう大変な作業ですが、おもしろい覚え方があると楽しく覚えられますね。また、子どもたちの頭に強い印象を与えることは、忘れにくい暗記法としても効果的です。

これは、私の経験ですが、先日の授業で、BIB溶液の色の変化を「きみドアホ！」という覚え方で紹介してみました。「キは黄色、ミは緑、アホは青のことだよ。」というと、教室の中はもう子どもたちの「きみドアホ！」の声であふれていました。少し下品な覚え方ではありますが、子どもたちは、覚えが早く、忘れなかったと記憶しています。

また、子どもたち(子どもに限らず)が強い印象を感じるのは、図やイラストを用いて、視覚的に物事を捉えさせることです。この本の中にも、図やイラストが多用され、一般的に難しいとされる「磁界」や「ものの動き」などの單元がわかりやすく説明されています。

保護者の皆様には、ちょっとしたご家庭での指導書として、受験生には、塾での予習・復習そして自習の教材としてお勧めします。

ぜひ、読んでみてください。